

質問事項

◆市長の選挙公約

ねもと たざえもん 議員

根本
太左衛門市長の
選挙公約について

質問事項

◆新市政運営に向けて、市長が目指す最重要施策

河野
節子

こうの せつこ 議員

新市政運営に向けて
市長が目指す
最重要施策は何か

問 前市政では箱ものへの投資が際立っていたが、人口減少に歯止めがかけられず、香取市もとうとう過疎地域に指定されてしまった。そこで新市長の目指す未来に向けての重要施策を伺いたい。

答 過疎地域からの脱却に向け、人口減少対策が最も重要となります。現状を踏まえ、まず、人口減少の幅を少しでも減らしていくことを目指し、着手できることから一つ一つ確実に関連施策を進めてまいります。

問 子育て支援策の充実について具体的な施策は。

答 学校給食費の段階的な免除に着手し、子育て世代の経済的負担を軽減するほか、保育環境やサービス内容の充実、および放課後児童クラブの待機児童の解消、産婦人科施設の誘致を実現し、子どもを産み、育てやすい環境を整えていくことで、人口減少、少子化に対応してまいります。

問 孤独な子育てをなくすためにも産後ケアの必要性が叫ばれているが香取市の実情と、今後の予定は。

答 現在、市においては、産後ケア事業を実施していませんが、産後も安心して子育てができる環境を整えるため、産科医療機関と連携を図りながら事業実施に向けて協議してまいりたいと考えております。

問 産婦人科の誘致と併せて産後ケアを実施す

市議会の議決案件は暴走なのか

問 無償譲渡の件は職員等が市民の為にと英知を絞り時間をかけて上程し、議会等での説明を受け、審議し議決に至った案件が暴走であったのか。

答 市有財産の無償譲渡という重要案件について、市民の皆さんへの説明や周知が不足するなど、その過程に丁寧さが欠けていたと思われるので、さらに時間をかけてその過程を大切にすべきという意味で使ったものです。

問 行政運営を取り戻す件は「しっかりと市民と共有できるようにしていく」とは、具体的に説明を。

答 市政の重要案件を進める際に、短期間で全ての結論を出してしまうのではなく、情報を広く周知しながら時間をかけて、関係者のみならず、多くの市民の皆さんからご意見を伺える機会を増やし、合意形成を図ることが必要であると考えます。

産婦人科施設は開設できるのか

問 熊谷知事への文書の「小見川高校への看護科設置、県立佐原病院への産婦人科誘致」とは、どのようなことなのか。

答 産婦人科の建設予定地については、総合病院に隣接していたほうが緊急時や救急対応などの点からよいのではないかと考えておりま

るのであれば、現在の予定地ではまずい。女性の声として、「市役所の前の婦人科には入りづらい」「新生児にはうるさすぎる場所で眠れない」など不安の声もあり。地盤の悪さで調査中とのことだが、みずたに会とよく話し合っしてほしいが。

答 産婦人科施設を整備する場所については、旧香取保健所跡地ということで法人と合意に至っております。現時点においては、移転は考えていません。

人口減少対策に
本腰で取り組んでほしい

問 移住・定住策には一カ月のお試し体験施設が必要ではないか。

答 体験施設は、施設を設置することや市営にこだわらず、移住希望者が必要としている実施方法などについて幅広く研究してまいりたいと考えております。

問 農業者の移住促進策は。

答 市内の農家や農業法人をめぐる農業体験を行う農家ツアーを昨年度から地域おこし協力隊が主体となり随時受付を行っています。今後においては、農業を生かした移住施策の展開についてできるところから取り組んでまいりたいと考えております。



農家ツアーの様子

した。市長に就任後、医療法人社団みずたに会の水谷理事長にお話を伺ったところ、NICU（新生児集中治療室）の必要性や、旧香取保健所跡地で旭中央病院や成田赤十字病院と連携していくことをご説明いただきましたので、開設場所は予定通り旧香取保健所跡地で進めることに改めさせていただきました。

問 産婦人科施設は市役所脇での考え方に改めたとの事、地盤調査の結果、工事費用が多額となった場合、香取市は負担できるのか。

答 市としては、産婦人科施設の開院を待ち望んでいるところでありますので、法人の意向などを十分に確認しながら、可能な限りのご支援をさせていただきたいと考えています。



産婦人科施設誘致場所(旧香取保健所跡地)